

8-1-8 広報戦略委員会

1. 広報戦略委員会の概要

建設コンサルタントは、国内外の社会資本整備・維持の中で重要な役割を果たしてきている。しかしながら、その役割・存在価値を国民に理解してもらえていないのが、現状である。

一方、優秀な若者が興味と期待を持って入職できる活性化した産業として、業界の担い手確保という観点から建設コンサルタントが認知されるためには、「安全・安心」、「経済活動」、「快適な暮らし」を支える基盤づくり、明るい未来社会のための基盤づくりを担う産業であることを多くの方々に理解してもらう工夫が必要である。

そのため、社会資本の必要性・意義と、建設コンサルタントの役割・存在価値について、情報発信や広報活動を効果的かつ戦略的に行うことがこれまで以上に重要であり、協会としての戦略的な広報を実践するために、協会会員企業における個別の企業広報活動と協力しながら、国、関連業界、学会等の広報活動の取組みとの連携や、各団体での役割分担などに配慮して、効果的な広報のあり方を整理し、取組みを進める必要がある。

社会インフラをハード・ソフトの両面から支える建設コンサルタントの持続的な発展に向けて、広報戦略委員会は「建設コンサルタント(業界)」の存在を社会に知らしめることを基本理念に、「人材の確保」「選択と集中」「適切な役割分担」を活動方針として定め、広報活動を実践している。

2. 主な活動の記録

(1) 第1回広報戦略委員会(平成28年6月)

平成27年度の支部広報活動を振り返るとともに、各専門委員会の活動計画、活動内容を確認した。

- a) 平成27年度における支部広報活動のとりまとめ
- b) 平成28年度広報戦略委員会の活動方針とスケジュール確認、中期行動計画確認
- c) 広報専門委員会活動

WGを構成して活動することとし、建設

関連業イメージアップ促進協議会の活動計画のほか、4つのWGの実施計画の具体的な広報活動について報告。

d) 広報事業専門委員会

建コンフォト大賞、フォト大賞Jr.、学生論文の募集ならびに入賞作品の活用等について報告。また、会誌226号を対象に実施した読者アンケート(webアンケート)の結果を報告。

e) 会誌編集専門委員会

平成28年度の特集テーマと今後発行予定の書籍「土木遺産V」についての準備状況を報告。

(2) 第2回広報戦略委員会(平成28年12月)

各専門委員会活動の中間報告と次年度の活動方針ならびに予算策定方針を審議した。

a) 広報専門委員会活動

国交省・他協会とともに実施中の業界説明会について報告。また、キャッチコピー・シンボルマークの応募結果と最終審査結果の報告とともに、学生向けリクルート動画の完成版の披露。フォト大賞入選作品によるカレンダーの制作、親子見学ツアーの継続開催状況を報告。

b) 広報事業専門委員会

フォト大賞、フォト大賞Jr.、学生論文の応募結果、それぞれの審査結果を報告。また、フォト大賞応募作品の活用方法を報告。さらに、建コンフォト大賞審査会設置要領(案)について審議。

c) 会誌編集専門委員会

直近の広報誌発行状況や今後の発行計画を報告。また、12月に出版した書籍「土木遺産V(ヨーロッパ編②・オリエント編)」について報告。

(広報戦略委員会委員長 村田 和夫)